西農業振興センミニ通信

２０２６年１０月号
発行 神戸市西農業振興センター
電話　９７５−５８００
FAX　９７５−６８２８

有機フッ素化合物（PFAS）の野菜類への影響についてのお知らせ

有機フッ素化合物（PFAS）の国内農畜水産物への影響については、現在、農林水産省によって調査・研究がすすめられています。
このたび、農林水産省より下記の試験研究結果が公表されましたので、お知らせします。

農業環境から野菜類への移行、蓄積に関する試験研究の結果（農林水産省プレスリリースより）
2026 年９月 11 日公表

環境水の指針値を超える PFOS 及び PFOA が検出されている河川水・地下水から取水している農地において、農地土壌から農産物（バレイショ、キャベツ、ダイコン、ニンジン及びホウレンソウ）への PFAS の移行の程度を把握することを目的として試験研究を行いました。
その結果、土壌中の PFAS 濃度が比較的高い、土壌の性質の異なる２ほ場において栽培試験を実施したにもかかわらず、可食部中の PFOS 又は PFOA の濃度は一般的な流通品を対象とした国産農産物の実態調査の結果と同程度の水準であり、農地土壌から農産物への PFOS 及び PFOA の移行、蓄積は限定的であることがわかりました。

※有機フッ素化合物（PFAS）とは（環境省ホームページより）

有機フッ素化合物のうち、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物を総称して「PFAS」と呼び、その中でも、幅広い用途で使用されてきた PFOS 及び PFOA は、難分解性、高蓄積性、長距離移動性という性質があるため、国内で規制やリスク管理に関する取り組みが進められています。

【関係機関ホームページ】

農林水産省⇒

環境省　⇒

神戸市　⇒（PFAS に関する情報全般）